

【3】 業務・産業用燃料電池の実証事業

大阪市・大阪府それぞれの強みを発揮し、相互に補完・連携しながら、プロジェクト創出をサポート

基礎自治体・大都市の強みを活かした各局連携による豊富な公共インフラの活用等と、
様々な産業支援機関のバックアップで、プロジェクト創出をサポート

公共インフラ活用のイメージ（例）：上下水道、学校、庁舎、公園 など



プロジェクト創出をサポートする産業支援機関：
バッテリー戦略研究センター ものづくりビジネスセンター大阪
大阪府産業デザインセンター 大阪産業経済リサーチセンター
大阪産業技術研究所 など

官民連携により
先進的な水素プロジェクトを創出

日立造船株式会社が業務・産業用燃料電池（SOFC型）の
実証事業を2017年度に大阪で実施

平成29年6月23日から大阪産業技術研究所
（ORIST）和泉センターに設置・実証開始

< 目標：4000時間以上の連続運転 >

咲くやこの花館（花博記念公園鶴見緑地内）
< スケジュール >

平成29年10月 工事予定、実証試験開始



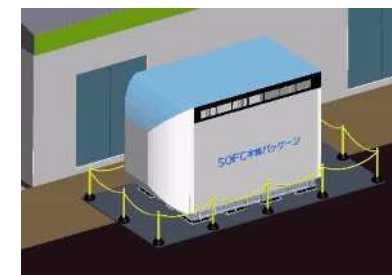
<ORIST和泉センター>



7/25
記者発表・
見学会の様子



<咲くやこの花館>



<設置イメージ図>

〔取組内容〕

府内の全小・中学校（約1,600校）を対象に、燃料電池で発電した電気を利用した様々なアイデアを募集。

その中から優れたアイデアを選定し、「水素・燃料電池キット」を使い、実際に作品を工作してもらいます

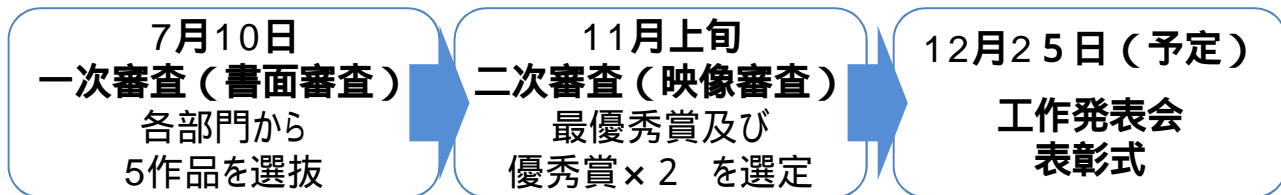
<29年度コンクールに協賛いただいた事業者の皆様> (50音順)
 岩谷産業株式会社、大阪ガス株式会社、大阪トヨタ自動車株式会社
 大阪トヨペット株式会社、川崎重工業株式会社、関西電力株式会社
 新コスモス電機株式会社

〔応募状況〕

小学生の部32作品・中学生の部24作品

計56作品の応募（550名の参加）をいただきました

〔スケジュール〕



〔参加賞〕

大阪府広報担当副知事もずやん をデザインしたマスキングテープを作製中

今年度も、「祭色兼備」のもずやんと「鳥志満々」、「府民普及」で「一鳥懸命」取組みます！

大阪府知事賞
 最優秀賞 賞状&図書券3万円分
 優秀賞 賞状&図書券1万円分
 <参加賞>
 応募者全員に限定のもずやんグッズ

作品募集!

水素・燃料電池
 工作コンクール

応募締切 平成29年6月20日(火)

大阪府広報担当副知事もずやん

現在、水素で走る燃料電池自動車(FCEV)の市販が始まっており、FCEVに水素を注入する水素ステーションの建設が進められています。水素は、使った時には二酸化炭素(CO₂)を出さない、次世代のクリーンなエネルギーとして、注目されています。そんな水素エネルギーを利用し、水素・燃料電池を使った工作アイデアを考えてみませんか？

詳しくはWEBで!

大阪府 水素 コンクール 検索

【主催】大阪府、大阪府立大半 【後援】大阪府教育委員会、大阪府教育委員会、堺市教育委員会
 【協賛】岩谷産業株式会社、大阪ガス株式会社、大阪トヨタ自動車株式会社、大阪トヨペット株式会社、川崎重工業株式会社、関西電力株式会社、新コスモス電機株式会社

水素の時代をお届けします
 HYSERVE Series
 燃料電池自動車
 大阪トヨタ 大阪トヨペット
 power with heart
 関西電力
 新コスモス電機株式会社



【4】 社会受容性の向上 副読本「おおさか環境科」への掲載及びイベント展示

〔学校教育における水素燃料電池の普及啓発〕

大阪市では、環境問題と水素エネルギーについての正しい理解の促進を目的として、大阪市域の小中学校を対象に配布している副読本「おおさか環境科」に水素・燃料電池に関して掲載するなど、普及・啓発に取り組んでいます。

昨年度は、小学校5・6年生向けの教材に掲載しましたが、今年度は、より幅広い学年に向けて、さらなる理解を促すため、中学生向けの教材にも掲載します。（平成30年3月配付予定）



〔市民参加の環境イベントでのFCV展示〕

【ECO縁日2017】

- ・開催日：平成29年11月4日(土) 開催（予定）
- ・会場：花博記念公園鶴見緑地
- ・来場者数：1万人(見込み)

昔ながらの縁日を再現し、都市に生活する人々が人と自然、生活と環境の関わりについて、体験を通して知識を深め、行動に結びつけることを目的としたイベント

< 出展内容 >

大阪ガス株式会社、大阪トヨペット株式会社のご協力のもと、水素ステーションのパネル展示、FCVの展示を行います。また、FCVに外部給電を取り付け、災害時の活用方法などFCVの特徴についてもご紹介します。



〔出展：本田技研工業株式会社HP〕

〔経過〕

KIX水素グリッドプロジェクト

概要

関西国際空港では、世界最大級の水素グリッドエアポートの実現に向け、空港島をフィールドに大規模水素サプライチェーンのモデル事業を展開

成果

燃料電池の新たな適用分野の燃料電池フォークリフト（FCFL）について全国に先駆けて実証開始（H26～）
H27～28年度まで、実用化モデルで実証
昨年11月より販売開始し、市販車両（1号車）を国内初導入

国内空港
初の試み！

物流施設への最適な導入モデルを構築
するため、大規模水素供給施設を整備



（水素ガスヤード全景）



（高圧水素配管）

関西国際空港の実証で開発された
大阪モデルのFCFLを市場投入へ



〔取組〕

燃料電池フォークリフトによる水素ショーケース 機能の強化に寄与する取組を支援

大阪府水素ショーケース推進事業（平成29年度 500万円）

目的

KIX水素グリッドプロジェクトでの実証を踏まえて市場投入された燃料電池フォークリフトの普及を後押しするため、水素社会の実現に取組む大阪府の取組みの一環として、中小企業を対象にした導入補助を実施

補助対象

中小企業者が、一般販売されている新車の燃料電池フォークリフトを購入、又はファイナンスリースにより導入し、耐用年数以上の期間、大阪府内に設置及び使用すること
環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」の交付を受けていること

補助額

補助対象経費 × 1 / 2 （上限：2,500千円）

募集

平成29年9月中旬以降、大阪府HPで募集の告知を予定